

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第1回 河内長野市国際化・多文化共生ビジョン 策定検討委員会
2 開催日時	令和元年7月30日（火）午後3時から
3 開催場所	河内長野市役所3階 301会議室
4 会議の概要	(1) 委員の委嘱 (2) 河内長野市教育委員会からの諮問 (3) 策定方針、現状と課題についての検討
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 生涯学習部 文化・スポーツ振興課 生涯学習推進係（内線 732）
8 その他	

第1回 国際化・多文化共生ビジョン策定検討委員会 議事録（概要）

開催日時：令和元年7月30日（火）午後3時から5時

開催場所：河内長野市役所 301 会議室

参加者：（委員）岡島克樹氏、柴梨里亜氏、井戸清明氏、森野章二氏、岸本恵理氏
（事務局）松本教育長、小川部長、山崎課長、古城補佐、二井主幹、東畑係長

1. 開会

- 松本教育長挨拶
- 委員への委嘱状交付
- 委員等の紹介

2. 議事

（1）会長・副会長の決定

会長 岡島 克樹氏、副会長 柴 理梨亜氏 に決定した。

（2）会議の公開・非公開の決定

傍聴要領（案）を承認し、会議公開を決定した。

（3）教育委員会からの諮問

教育長から岡島会長に諮問書を交付した。

（4）ビジョンの策定方針について

概ね了承を得た。

（5）現状と課題について

主な検討事項については下記のとおり。

（今回は時間不足により、基本方針、推進体制等の審議は割愛）

○外国人市民の定義について

多文化共生を考える場合には、狭義の外国人市民と広義の外国人市民を使い分け、市として日本国籍の有無に関わりなく、統計数値には表れない、広い意味での外国人市民がおられることを認識する。

○外国人労働者について

外国人技能訓練者が本市に継続して定住してもらえる環境かどうか。賃金だけではなく、正しい扱いや、幅広い友人関係、周囲の人々が親切で住みやすいことが大事。日本人とのコミュニケーションがうまくできていないことが多いと感じる。そこを変えることができれば、外国人に選んでももらえる町になれる。

○商工会と国際交流協会の連携について

外国人労働者の方々と、楽しく、働き甲斐をもって、一緒に生活していくために、企業から情報を提供いただき、国際交流協会としてお困りの方のサポートや、防災面での協力を行っていきたい。

○日本の学校制度から働くまでについて

外国人市民の子どもたちは、義務教育期間は何とか終えることができて、その先がどんな仕組みになっているのかを知ることが難しい。日本の学校制度を子どもだけでなく、親に分からせてあげて、将来、子どもたちが良い家庭環境で育つように早い段階で伝えていくことが必要。

○外国人への福祉関係人材としての期待

本市の高齢化は府内都市では飛びぬけて進行しており、一方で介護産業の増加が著しい。本市に来て、学べて、住めて、仕事が近く、研修の機会のある環境づくりができれば、本市に定住し、外国人市民にとってもふるさとになるのではないかな。

3. その他

次回の会議については10月頃に開催予定